

## 【研修会・人材確保事業を開催しました】

令和8年3月12日に研修会・人材確保事業を開催しました。今回は、東京福祉大学の大講義室を会場としてお借りして実施しました。

本会は、東京福祉大学とは、11月開催の「地域公開講座」等連携事業を実施しています。

### （研修会）

「社会福祉法人の公益的な取り組み」

社会福祉法の改正に伴い、地域における公益的な取り組みが社会福祉法人の責務として位置付けられました。

そのため、分野を超えた連携や協働して取り組むことの重要性を再認識することを目的に講師に東京福祉大学准教授北爪克洋氏を迎え「社会福祉法人の公益的な取り組み」について、お話をいただきました。



### （人材確保事業）

#### ①「東京福祉大学との連携」

伊勢崎市社会福祉法人連絡会 島田幸治会長より、東京福祉大学・伊勢崎市と共催した「地域公開講座」や役員会に「地域公開講座」に携わった学生がオブザーバーとして出席し、「地域公開講座」の報告や役員との意見交換をしたことなど、東京福祉大学との連携についての説明がありました。

今後の取組みとして、東京福祉大学と包括的な協定を締結する方向性について説明がありました。



## ②「キャリア支援室について」

東京福祉大学キャリア支援室新井亨氏より、就職支援の現状や採用活動の現状等についてお話がありました。

就職支援の現状は、3年秋以降から支援を始めていたが、就職活動が早くなってきたため、低学年からの支援、情報提供をしていることの説明がありました。

採用活動の現状は、企業は3月に求人票を出すため、学生に最新の情報を提供しているが、社会福祉法人は、春に求人票を出すのが難しいと思われるため、前年の求人票を基に学生と話をしていることの説明がありました。

また、就職先として、一般企業が多くなっていると思われているが、実際は、10～15%のみとなっており、福祉系に就職する学生が多い現状の説明がありました。



## (学生のコミュニティワーク)

社会福祉学部3年生の3名が登壇し、事前に参加者から募集していた質問へ答えました。

社会福祉法人のイメージ、実習、地域貢献、ボランティアなどの質問に答えました。

就職先の情報の入手方法では、キャリア支援室の活用、施設のホームページの閲覧のほか、求人サイトを活用している学生が多いことがわかりました。

また、就職先を選ぶときに重視する条件等については、長く働くために人間関係、職場の雰囲気重視することや、プライベートを充実させるため、休日日数や給料などの安定性が大事との意見がありました。



## (キャリア支援室見学)

キャリア支援室を見学し、求人の申込についてなど説明がありました。現在は、紙の求人票ではなく、データが主流となり、学生がスマホでいつでも求人を確認できる環境になっているとの説明があり、参加者は熱心に担当者の話を聞いていました。

伊勢崎市社会福祉法人連絡会は、今後ともキャリア支援室との連携を図っていききたいと考えております。

